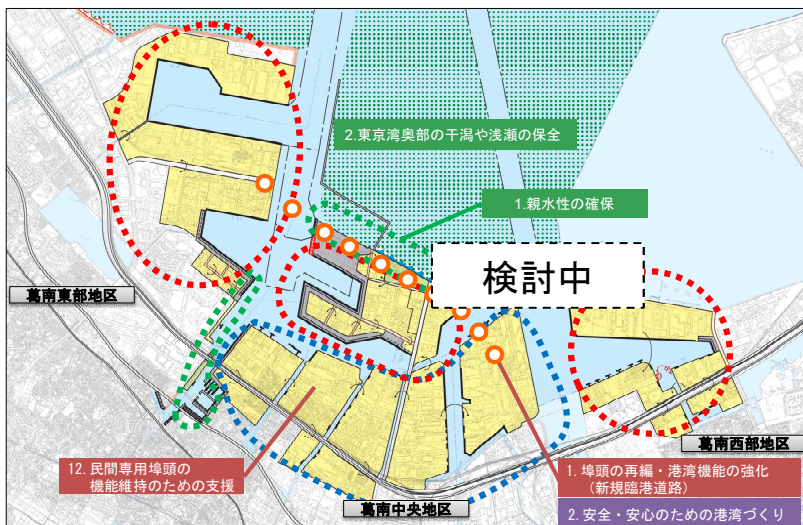


6 千葉港の長期構想

6-4 将来の空間利用イメージ

(2) 葛南東部、葛南中央、葛南西部地区の空間利用イメージ

- 葛南中央地区の北側は、鉄鋼業者が立地していることから、鉄鋼・鋼材の生産を担う「産業ゾーン」とし、民間専用埠頭の機能維持のための支援を進めます。
- 葛南中央地区の南側は、現状と同様の貨物の取扱が見込まれることから、スクラップや鋼材の取扱を主力とする「物流関連ゾーン」とします。また、臨港道路を整備し、交通渋滞の緩和、災害時における輸送道路・避難経路の複線化を図ります。南側の沿岸部は、海浜や公園が位置しており、海と触れ合える空間を求める地域住民・来訪者のニーズに応える「親水・交流ゾーン」とします。
- 葛南西部地区は、鉄鋼や砂・砂利を取り扱う「物流関連ゾーン」とします。



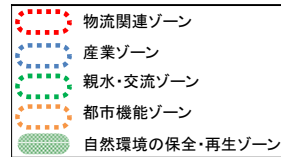
施策展開の凡例

将来像Ⅰ グローバル化、地域間競争の時代の
県内企業の発展を支える千葉港

将来像Ⅱ 県民の生活と安心を支え、
県民と共にある千葉港

将来像Ⅲ 環境を守り、人々が海を感じ
ふれあえる千葉港

ゾーニングの凡例



(3) 千葉北部地区の空間利用イメージ

- 千葉北部地区の海岸沿いは、人々が海と触れ合える「親水・交流ゾーン」とし、旅客船棧橋整備による海上交通網の実現や、浜辺における各種のイベント開催への協力などによる地域の活性化を図ります。
- 前面の水域は、自然環境豊かな干潟・浅海域となっており、「自然環境の保全・再生ゾーン」として、今後も継続して自然環境を守っていきます。
- 背後の商業施設、集客施設等が立地するエリアは「都市機能ゾーン」とします。



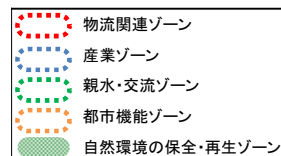
施策展開の凡例

将来像Ⅰ グローバル化、地域間競争の時代の
県内企業の発展を支える千葉港

将来像Ⅱ 県民の生活と安心を支え、
県民と共にある千葉港

将来像Ⅲ 環境を守り、人々が海を感じ
ふれあえる千葉港

ゾーニングの凡例

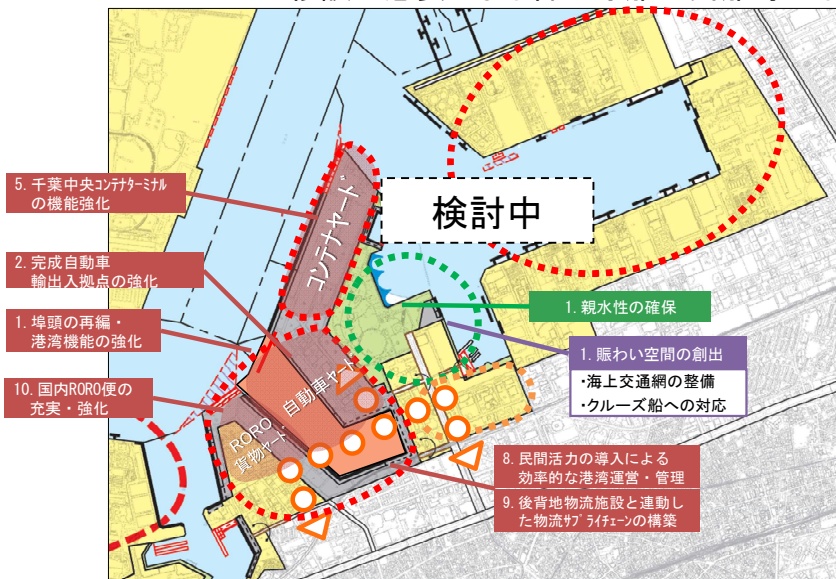


6 千葉港の長期構想

6-4 将来の空間利用イメージ

(4) 千葉中央地区の空間利用イメージ

- 中央ふ頭は、将来的に取扱の増加を見込む外貨コンテナ貨物及び完成自動車を扱う「物流関連ゾーン」とし、外貨コンテナ貨物、完成自動車貨物の取扱機能の強化を図ります。
- 出洲ふ頭は、増加が見込まれるRORO貨物を扱うヤードと上屋・倉庫が立地する「物流関連ゾーン」とします。
- 埋立により確保した用地は「物流関連ゾーン」とし、自動車貨物ヤードを配置するとともに、奥部には高機能物流倉庫等の整備・誘致を図ります。
- 埋立によって移設が必要となる官公庁船や曳船等の収容先の確保を図ります。



施策展開の凡例

将来像Ⅰ グローバル化、地域間競争の時代の
県内企業の発展を支える千葉港

将来像Ⅱ 県民の生活と安心を支え、
県民と共にある千葉港

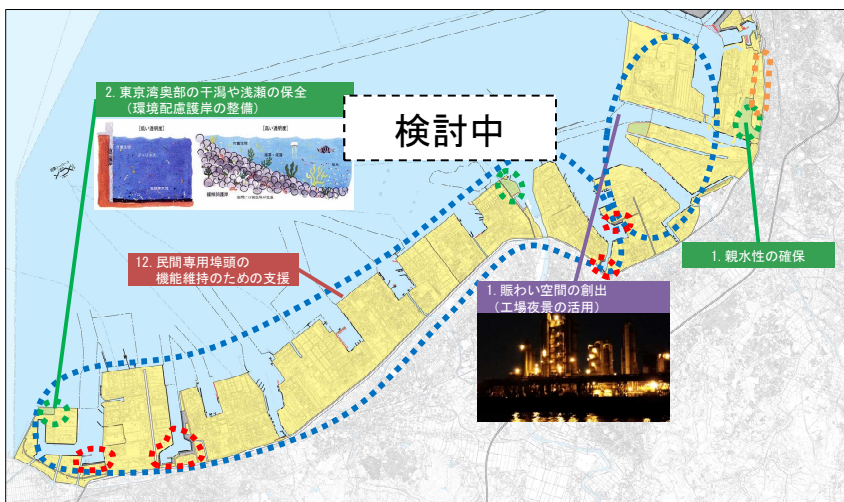
将来像Ⅲ 環境を守り、人々が海を感じ
ふれあえる千葉港

ゾーニングの凡例



(5) 千葉南部、八幡、五井、姉崎、袖ヶ浦地区の空間利用イメージ

- 袖ヶ浦地区から八幡地区にかけては、石油製品、化学工業品の製造を担う「産業ゾーン」とします。千葉南部地区の西側は、鉄鋼製品の製造を担う「産業ゾーン」とします。
- 「産業ゾーン」では、民間専用埠頭の機能維持のための支援を進めます。また、護岸については、環境配慮型施設の整備を進め、自然環境の保全に努めます。
- 千葉南部地区の東側は、商業施設が立地する「都市機能ゾーン」と、民間事業者による遊覧船の設置などの取り組みを生かし、親水空間機能の向上を図る「親水・交流ゾーン」とし、県民の親水性の確保を図ります。



施策展開の凡例

将来像Ⅰ グローバル化、地域間競争の時代の
県内企業の発展を支える千葉港

将来像Ⅱ 県民の生活と安心を支え、
県民と共にある千葉港

将来像Ⅲ 環境を守り、人々が海を感じ
ふれあえる千葉港

ゾーニングの凡例

